



2023年3月期 第2四半期決算短信 [日本基準] (非連結)

2022年11月8日

上場会社名 ジオマテック株式会社

上場取引所 東

コード番号 6907 URL https://www.geomatec.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 松崎 建太郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員兼CFO (氏名) 河野 淳 (TEL) 045-222-5720

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無: 有

四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績 (2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	3,079	—	228	—	296	—	△203	—
2022年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	△25.77	—
2022年3月期第2四半期	—	—

(注) 2022年3月期第2四半期は連結業績を開示しておりますが、当第2四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2022年3月期第2四半期の経営成績 (累計) 及び対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	18,482	10,214	55.3
2022年3月期	18,768	10,412	55.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 10,214百万円 2022年3月期 10,412百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2023年3月期の業績予想 (2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,850	0.1	50	△77.2	135	△59.0	△370	—	△46.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期2Q	9,152,400株	2022年3月期	9,152,400株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,242,116株	2022年3月期	1,242,116株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期2Q	7,910,284株	2022年3月期2Q	7,910,284株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、四半期決算短信 (添付資料) P. 2 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・決算補足説明資料は、2022年11月8日 (火) に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(四半期貸借対照表に関する注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は2022年8月8日付で連結子会社であった吉奥馬科技（無錫）有限公司の全出資持分を譲渡したことに伴い、第1四半期累計期間までは連結決算でありましたが、当第2四半期累計期間より非連結決算へ移行いたしました。なお、前第2四半期連結累計期間において四半期連結財務諸表を作成していましたが、上記により当第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していないため、比較分析は行っておりません。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和され持ち直しの動きが見られたものの、ウクライナ情勢の長期化や、世界的な金融引き締めによる急速な円安の進行、原材料価格やエネルギー価格の高騰が続くなど、依然不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社を取り巻く事業環境は、当社の主力製品が関連するスマートフォン市場における世界的な需要減速や、半導体供給不足の継続による自動車市場への影響がみられましたが、当社においてその影響が軽微であったことから概ね堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は3,079百万円となりました。損益につきましては、モビリティ向け薄膜製品、半導体・電子部品向け薄膜製品の売上げが増加したことや、前期下期に投入したカバーパネル用反射防止・防汚膜向け生産ラインが本格的に稼働し生産性が向上したことから、営業利益は228百万円、円安に伴う為替差益48百万円を営業外収益に計上したことなどから、経常利益は296百万円となりました。また、当社の連結子会社である吉奥馬科技（無錫）有限公司の全出資持分の譲渡に伴う事業譲渡損493百万円を特別損失に計上したことから、四半期純損失は203百万円となりました。

品目別の状況は、次のとおりであります。なお、当社は、成膜加工関連事業の単一セグメントであるため、品目別に記載しております。

(ディスプレイ)

液晶パネル用帯電防止膜やタッチパネル用透明導電膜は、自動車向けメーターパネルやウェアブル端末向けの受注は安定的に推移いたしました。スマートフォン、タブレット、ゲーム機器向けの受注は低調に推移いたしました。

この結果、売上高は1,228百万円となりました。

(モビリティ)

モビリティ向け薄膜製品は、前期下期に投入した生産ラインの効果によりカバーパネル用反射防止・防汚膜の受注は引き続き好調に推移いたしました。

この結果、売上高は947百万円となりました。

(半導体・電子部品)

半導体・電子部品向け薄膜製品は、半導体向けが安定的に推移したことに加え、電子部品向け金属配線・電極膜の受注が増加いたしました。

この結果、売上高は564百万円となりました。

(その他)

その他につきましては、遮光膜・減光膜に関連した製品の受注が堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は338百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末に比べ285百万円減少し、18,482百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が296百万円、流動資産のその他に含まれる未収入金が330百万円増加したものの、流動資産のその他に含まれる関係会社短期貸付金が106百万円、投資その他の資産のその他に含まれる関係会社出資金が156百万円、関係会社長期貸付金が588百万円減少したことなどによるものであります。

負債合計は、前事業年度末に比べ87百万円減少し、8,268百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が358百万円増加したものの、流動負債のその他に含まれる設備関係支払手形が483百万円減少したことなどによるものであります。

純資産合計は、前事業年度末に比べ197百万円減少し、10,214百万円となりました。これは主に、利益剰余金が203百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期通期の業績予想につきましては、2022年10月25日公表の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日別途公表の「2023年3月期通期個別業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,584,687	5,397,199
受取手形及び売掛金	4,984,536	5,281,414
電子記録債権	530,964	628,554
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	3,487	3,011
仕掛品	386,742	346,584
原材料及び貯蔵品	1,208,728	1,399,075
その他	260,672	454,495
貸倒引当金	△399	△499
流動資産合計	13,259,421	13,809,837
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	435,235	434,611
機械及び装置（純額）	1,018,468	1,010,268
土地	1,084,198	1,084,198
その他（純額）	108,543	116,839
有形固定資産合計	2,646,446	2,645,916
無形固定資産	69,973	77,020
投資その他の資産		
投資有価証券	1,380,913	1,283,828
保険積立金	469,445	477,218
その他	942,969	189,919
貸倒引当金	△1,004	△1,004
投資その他の資産合計	2,792,323	1,949,961
固定資産合計	5,508,744	4,672,899
資産合計	18,768,165	18,482,736

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,815,476	5,174,143
1年内返済予定の長期借入金	689,248	733,864
未払金	217,589	185,213
未払法人税等	59,969	38,988
賞与引当金	126,404	123,391
その他	706,414	303,265
流動負債合計	6,615,103	6,558,868
固定負債		
長期借入金	1,465,613	1,426,453
役員退職慰労引当金	5,100	5,100
退職給付引当金	244,792	248,821
その他	24,896	28,763
固定負債合計	1,740,401	1,709,137
負債合計	8,355,505	8,268,006
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,043,850	4,043,850
資本剰余金	8,297,350	8,297,350
利益剰余金	△697,876	△901,705
自己株式	△1,311,155	△1,311,155
株主資本合計	10,332,167	10,128,339
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	80,492	86,391
評価・換算差額等合計	80,492	86,391
純資産合計	10,412,659	10,214,730
負債純資産合計	18,768,165	18,482,736

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,079,632
売上原価	2,190,062
売上総利益	889,570
販売費及び一般管理費	660,808
営業利益	228,761
営業外収益	
受取利息	3,514
受取配当金	5,073
為替差益	48,218
不動産賃貸料	2,640
その他	16,951
営業外収益合計	76,398
営業外費用	
支払利息	5,425
その他	3,447
営業外費用合計	8,872
経常利益	296,287
特別損失	
事業譲渡損	493,295
特別損失合計	493,295
税引前四半期純損失(△)	△197,008
法人税、住民税及び事業税	6,820
法人税等合計	6,820
四半期純損失(△)	△203,828

（3）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前四半期純損失（△）	△197,008
減価償却費	172,758
事業譲渡損益（△は益）	493,295
貸倒引当金の増減額（△は減少）	100
賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,012
退職給付引当金の増減額（△は減少）	4,029
受取利息及び受取配当金	△8,805
支払利息	5,425
投資事業組合運用損益（△は益）	1,518
為替差損益（△は益）	△10,422
売上債権の増減額（△は増加）	△386,727
棚卸資産の増減額（△は増加）	△149,712
その他の資産の増減額（△は増加）	33,346
仕入債務の増減額（△は減少）	358,666
未払消費税等の増減額（△は減少）	140,721
その他の負債の増減額（△は減少）	△151,421
小計	302,752
利息及び配当金の受取額	9,299
利息の支払額	△5,577
法人税等の支払額	△13,640
営業活動によるキャッシュ・フロー	292,834
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有価証券の償還による収入	300,000
有形固定資産の取得による支出	△580,782
投資有価証券の償還による収入	100,000
無形固定資産の取得による支出	△9,390
貸付けによる支出	△7,889
貸付金の回収による収入	9,636
保険積立金の積立による支出	△7,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	△196,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	350,000
長期借入金の返済による支出	△344,544
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,456
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,422
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	112,512
現金及び現金同等物の期首残高	5,584,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,697,199

（4）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

（時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用）

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27－2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。

なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

（四半期貸借対照表に関する注記）

取引先からの有償支給材料に係る代金相当額が次の科目に含まれております。なお、有償支給材料代金は、「売上高」及び「売上原価」から控除して表示しております。

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
受取手形及び売掛金	3,736,365千円	4,070,071千円
仕掛品	219,551	194,191
原材料及び貯蔵品	464,757	503,181
支払手形及び買掛金	4,489,106	4,837,181